

# 坂井 えつ子 Vol.45



のつながる 小金井通信



緑・つながる小金井 会派ニュース

2019年第3回定例会 報告号

## 2018年度決算審査

**何が あったの?** 学校の公共料金の支払いを忘れていたことに気が付いた学務課職員が、2月に私費で支払い。5月、6月にも私費払いしていたことが、6月に発覚。

支払い額はおよそ92万6千円で、遅延金は2万8千円程度発生しています。

2018年度中に起きた事案なので、決算審査の範囲内ですが、どう対応するか市の方針は定まっておらず。決算は12月議会で継続審査することに。

市議会は、「ガバナンス(統治能力)が欠如し、コンプライアンス(法令順守)意識に欠ける西岡市長に対する決議」を可決しました。

市は、職員が92万の私費払いした件の対応方法を示せず。第4回定例会に、異例の先送り。



発覚から、4カ月も経っているのに、方針を示せないのは困ったもの。坂井も決議に賛成しました。

第4回定例会まで、1カ月ありません。定例会冒頭には、方針を示せるように & 他の業務に支障が出ない体制を取るように求めました。

## 坂井えつ子の議会報告&意見交換会

@ (本町2-19-6 1-105) 主催: 緑・つながる小金井

vol.24 **11月9日**(土) 午後2時~4時

vol.25 **11月14日**(木) 午後7時半~9時半

内容は同じです。事前申込み不要。途中入退室も自由。お気軽に!

9月議会や 12月議会のこと 市政のあれこれ



ひとことニュース: 小金井市長選挙は、12/8が投開票。第4回定例会も前倒しで11/1からの予定。

### <坂井えつ子 プロフィール>

●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中、小金井北高、日本大学法学部卒業 ●日本福祉教育専門学校入学 ●2015年市議補選で初当選 ●2017年再選。厚生文教委員、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員、議会運営委員、広報協議会委員 ●湖南衛生組合議員、三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会(道路)、小金井市土地開発公社評議員 ●市民自治こがねい、全国フェミニスト議員連盟、緑の党、市民自治をめざす三多摩議員ネットワークなどに参加。

お問合せ・ご相談 お気軽に

### 坂井えつ子 連絡先

本町2-19-6 1-105  
TEL : 090-1796-7652  
Mail : info@sakaietsuko.com



公式HP



坂井えつ子

検索

やっぱり **反対**

## 学校給食調理、直営ゼロ方針

市は、2021年に一小、三小、2026年に本町小、東小の給食調理業務を委託する方針を職員団体に示しました。

**ココ**が おかしい

### 財源確保 のための委託

市の提出資料の「委託の目的」をみると、2013年の目的にはあった「給食の維持向上」が、今回は入らず。

年次と方針	委託の目的	
<b>2013年</b> (小学校5校委託)	学校給食の改善 明日のこがねい教育プラン推進	給食の質(小金井らしさ)の維持と向上
<b>2019年</b> (7年後に直営ゼロ)		学校施設の老朽化に対応した建替えや長寿命化改修の財源確保



当然、守られるべき「給食の維持向上」が入っていない時点で反対です。

**ココ**が おかしい

### 給食を守る 方針が未確定

市民有志も要望書を市に提出しました。直営校維持の方針転換や給食を守る体制等を示すよう求めています。



### 【職員団体との交渉】

2021年度に2校委託  
2026年度に2校委託(直営ゼロ)



### 【市の見解と対応】

2021年に2校委託しても、これまでと大差はない。  
2021年以降の体制を検証してから、直営ゼロにおける学校給食の指針を示す。



指針を示すのが2021年以降なら、職員団体との交渉も2021年までに留めるべき。検証結果を踏まえて方向性を示すべき。

## 一步踏み込んだ市長を評価。だけど都知事への伝え方はイマイチ

9/24 市長は、この間、「地元への配慮を欠いた事業着手については両路線とも希望しない」と言い続けてきました。今回、新しい答弁はないものの、一步踏み込みました。

◆3・4・11号線  
環境配慮や住民理解が進展していない現時点では賛同できない。  
◆3・4・1号線  
見直しを求めています。




市長

都知事に、「丁寧な対応&現場視察&市民との意見交換の場の継続&今後の進め方に特段の配慮”を求める。

更に、“根幹である市長としての判断が重要。

**市長と都の調整がつかない状況で、強引に進めることはありえないし、許されないのではないか。”**と、発言。

9/26 市議会は、3度目の決議を賛成多数で可決。


 坂井が案文を作成しました。

西岡市長に、市議会の決議を重く受け止め、東京都へ「都市計画道路3・4・11号線の是非を議論できる場の設定」を求める決議

10/10 市長は、意見交換会で両路線の見解を直接伝えました。都知事は…

様々な意見があることは承知している。西岡市長も何度か「丁寧に」という言葉を繰り返した。都としても様々な意見があることをベースに、丁寧に対応していきたい。



 市議会で感じられた市長の意気込みは、都知事との意見交換会では感じられず。「丁寧に」ということが、強く伝わってしまい、とても残念。市長には、見直しや賛同しない旨をより強調していただきたかった。



## 補正予算は可決。坂井も賛成しました



【初!委員長を務めました】

まちづくりの将来ビジョンを定める都市計画マスタープラン策定のための経費を含むおよそ16億円の補正予算に賛成しました。市長が、「無作為抽出で行う市民アンケートで、はけと野川をこわす道路計画についても問う」としたことで、各議員の評価が分されました。



まず、市民参加の機会は設けていくべきです。けれど、この道路計画に関しては、すでに反対や見直しの声が多く出ています。これまでの経緯や現状を説明した上で行うなど、アンケート作成は慎重に行うよう強く求めました。

## 「一般質問時、自分で水を用意する」の提案、不一致。残念!

2018年、議場への水筒の持ち込みが可能に。これを踏まえ、「一般質問時の水は、議員本人が用意する」の提案をしました。議会事務局職員の負担減が目的だったけど、2会派(自民・信頼、共産党)の反対で不一致に終わりました。



【このこと。現在、坂井は自分で水筒を持参】



議会事務局の業務から、雑務をなくし、マンパワーを調査研究などの機能向上に充てていくべき。

## 同性パートナーシップ制度 公正証書提出も選択制にしよう

小金井市は、来年秋に、同性パートナーシップ制度を導入する予定です。市議会は、先日、“制度導入”と“公正証書を制度に入れることの検討”を求める陳情書を採択したけれど、市の見解は不明確なまま。「公正証書の提出」を選択制としている中野区の制度が良いと考え、市長の見解を問うたところ、「検討する」との答弁でした。

